



# ひろしま建築学生チャレンジコンペ 2017 実施結果

主催  広島県

協賛



## | 西沢委員長 講評 |

### (全体)

全体的に若々しさがああり、どの案も全力投球で素晴らしいコンペでした。

設計的に感じた印象は、どの案も「環境の中の建築」という視点があること。昭和の時代に自然の中に建てられたトイレは機能優先で、トイレのことだけ考えて作られて、それが環境破壊になっていて、そこに「ほんとにトイレだけでいいのか？」という疑問を皆さんが感じ、それをダイレクトに設計に繋げている点にすごく共感できました。

一方で、トイレなんてこんなものだとか決めつけているような気がします。既製のトイレを並べて、屋根をかけているだけの印象があり、考え方が図式的で、空間的でないと思います。

特に、最優秀賞を受賞した人は反省し、空間的に考えていくべき。より快適なトイレにしていくには、「トイレなんてこんなものだ」という固定概念を捨てて、この場にあった快適な居場所を考えてください。

一番危惧することは、周りの大人に言われるままにやって、自分の案の一番の魅力を殺してはいないかということです。自分の建築の魅力がどこにあるのか良く理解し、設計を進めて欲しい。

### (最終審査対象の各作品)

最優秀作品賞を受賞した登録番号 33 は、彫刻的な視点が素晴らしいと思った。作品名も素敵だし、木や岩、屋根を抽象化し、形に置き換えていくコンセプト等、世界観が素晴らしく感じた。トイレの距離感もうまく保てているところに共感が持てる。片方で、抽象化すればなんでも OK の世界になってしまうとまずい。

優秀作品賞を受賞した登録番号 15 は、1 次審査と最終審査で魅力的と感じたことが全く違い、良い意味で裏切られた。ボリュームが全然違った点にも驚かされたが、二次審査ではもっとも推した。

同じく、優秀作品賞を受賞した登録番号 120 は、トイレ二つとも建築的に力強く、魅力がある。惜しまれるのは、建築の力強さを作者があまり自覚していない点で、例えば、トイレ 1 の十字の空間や連続架構は素晴らしいのだが、自らその魅力を壁で断ち切ってしまう。トイレ 2 に至っては、ほぼ全ての場所で建築の魅力を自ら捨てている。万一実施案に選ばれたら、もう一度やり直した方がいい。

入選した登録番号 27 は、俯瞰して設計している点が良い。大自然の中での建築の有り様を提案している点は共感できる。一方で、建築としては若干の既視感を感じた。屋根の大きさや下部空間のボリューム等のバランスは間違っていないと思った。

同じく、入選した登録番号 84 は、模型の完成度も高く、本当に建ってしまいそうという具体性があった。三倉岳をコンセプトにした屋根についても説得力を感じたし、何よりプランが面白かった。屋根によって男女の空間が分かれているように見えるが、プランを見ていると実際には男女の空間が分かれておらず、面白さを感じた。

## | 審査委員会 |

委員長	西沢 立衛	西沢立衛建築設計事務所／横浜国立大学大学院都市スクール Y-GSA 教授
委員	今川 忠男	今川建築設計
	石川 誠	石川誠建築設計事務所
	梅村 幸平	広島県環境県民局環境部長
	宮崎 昌二	広島県土木建築局建築技術部長

## | 審査過程 |

### **BEST-1** 【最優秀作品】

(投票数の多い 2 作品を対象に、各委員が投票した結果、最優秀作品を選定)

### **BEST-3** 【優秀作品】最終審査会の審査過程で選ばれた 3 作品

(5 作品を対象に、各委員が選定したい作品を投票した結果、投票数の多い 3 作品を上位に選定)

### **BEST-5** 【入選作品】1 次審査通過作品

(8 作品を対象に、各委員の議論により、5 作品を選定)

### **BEST-8** 1 次審査会の投票及び審査委員の議論で選ばれた 8 作品

(1 回目審査投票で 2 票以上を獲得した上位 13 作品を対象に、各委員が議論により上位 8 作品程度を選定)

### **BEST-33** 1 次審査会の 1 回目審査投票で選ばれた 33 作品

(全 77 作品を対象に、各委員が選定したい 10 作品程度に投票し、上位 33 作品程度を選定)



「イワトキ」

敷地の周辺には木立に岩が点在する地形があります。そこから木と岩の要素を抽象化しました。(この岩と岩の間は通れそうだな、(木の下の岩は心地良いな)。そういった、この先待っている自然公園でのワクワクする体験の前提を「イワトキ」では感じることができます。



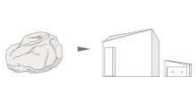
■ダイアグラム

木の抽象化

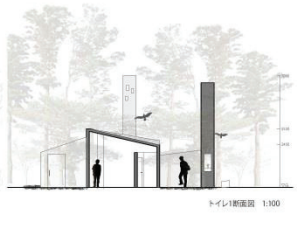
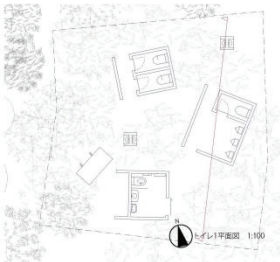


抽象化された木の上部を覆えます。その部分は野鳥の鳥小屋になっていたり、トイレの場所が夜でもわかるように灯がついています。また木の下部には手洗い場を設計しています。

岩の抽象化



抽象化された岩はボリュームの対角を直線で結び、それを対称にして異なる2つの勾配をつけるという単純な操作できています。また岩の足元は土になっていて草花の姿が見られます。



イワトキとヤネトキ

■ 対称敷地の概要

三倉宿はロッククライミングのメッカと言われ、自然公園には多くの登山者やキャンプ利用者が訪れます。今回、対象となるトイレがある場所は、それぞれ特徴のある場所となっています。敷地は駐車場に隣接してあらゆる人たちにとって集まりの場所です。敷地はキャンプ場に近く、主にキャンプ場を利用するための場所です。



■ コンセプト

私たちは山の中で何によって自然を感じているのでしょうか？木の葉の青さや岩や木立に付く鳥の巣の音でしょうか。実は木や岩、東屋といった、環境を構成する要素同士の空間的關係(要素の配置やプロポーション)も自然を感じる要因のひとつかもしれません。「イワトキ」、「ヤネトキ」もそうした要素同士の空間的關係(木と岩、木と東屋)から自然環境のような場所を人工的につくりだすこと。抽象化された木、岩、東屋が作り出す空間が自然を感じることが出来ます。そうした方法で、多くの人が心地よいと感じる、他にはない限りなく人工的で限りなく自然に近い場所をつくることを提案します。



□ 抽象化することのメリット

単純な造形なので施工に特別な技術が必要としない上、日々のメンテナンスも容易に行うことができます。また構造にコンクリートを採用し、間仕切り壁なども全てコンクリートで作ります。そのため、内装、外装工事は塗装工事といくつかの建具工事のみに留まり、コストを抑えることができます。



「ヤネトキ」

敷地の周辺には木々に囲まれた東屋(炊事場)があります。そこから木と東屋の要素を抽象化しました。大屋根の下の空間には木のボリュームの配置によって少し開けた空間が生まれています。そこは、友人とおしゃべりをしたり、1人でくつろいだり、様々な使い方がなされる空間です。



■ダイアグラム

木の抽象化

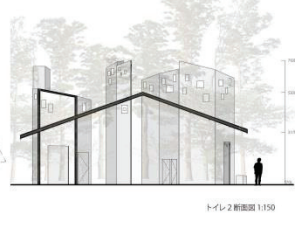


抽象化された木は、トイレ、手洗い場、鳥小屋、行灯、ベンチなど色んな機能を持っています。大ききの異なったそれらの木が生えた敷地は本当の木立のように感じられます。

東屋の抽象化



抽象化された東屋は屋根として表現されます。この大屋根の輝かた空間は雨をしのぐだけでなく、縁の一体感と落ち着きを感じることができます。



- BEST-1 投票した審査委員 | 西沢, 石川, 宮崎
- BEST-3 投票した審査委員 | 西沢, 今川, 石川, 梅村, 宮崎
- BEST-5 委員の議論により選定
- BEST-8 委員の議論により選定
- BEST-33 投票した審査委員 | 西沢, 石川, 梅村

【優秀作品 (BEST-3)】

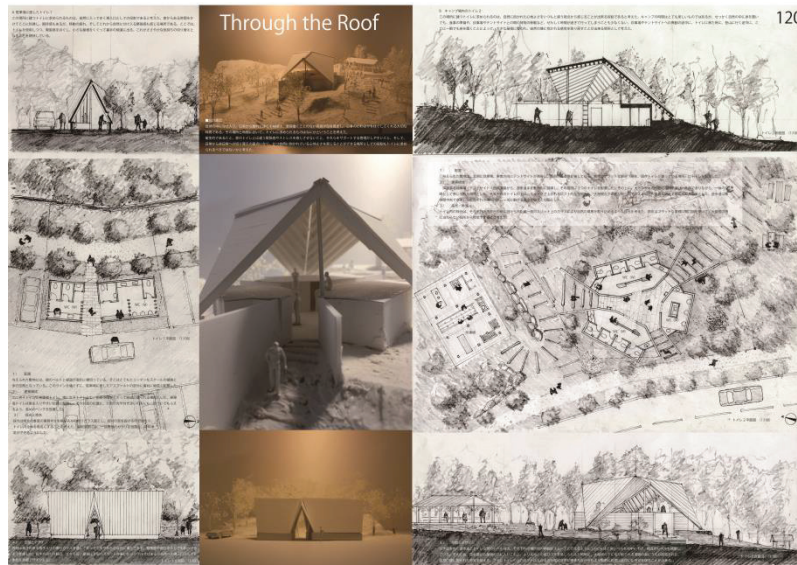
015 | 森嶋 仁佳子, 平山 千紘 (安田女子大学)



BEST-3 投票した審査委員 | 西沢, 今川, 宮崎  
 BEST-5 委員の議論により選定  
 BEST-8 委員の議論により選定  
 BEST-33 投票した審査委員 | 西沢, 今川, 石川

【優秀作品 (BEST-2)】

120 | 玉井 佑典 (広島工業大学)



BEST-1 投票した審査委員 | 今川, 梅村  
 BEST-3 投票した審査委員 | 西沢, 今川, 石川, 梅村, 宮崎  
 BEST-5 委員の議論により選定  
 BEST-8 委員の議論により選定  
 BEST-33 投票した審査委員 | 西沢, 今川, 石川

| 入選作品 (BEST-5) |

027 | 吉本 大樹 (近畿大学)



BEST-3 投票した審査委員 | 石川  
 BEST-5 委員の議論により選定  
 BEST-8 委員の議論により選定  
 BEST-33 投票した審査委員 | 西沢, 今川, 石川, 宮崎

| 入選作品 (BEST-5) |

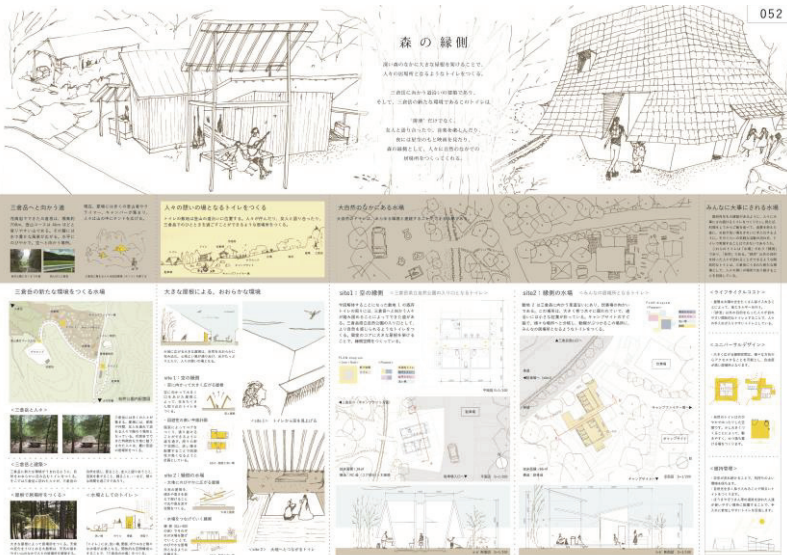
084 | 藤井 邦光, 花田 裕実, 中井 俊宏 (静岡文化芸術大学)



BEST-3 投票した審査委員 | 梅村  
 BEST-5 委員の議論により選定  
 BEST-8 委員の議論により選定  
 BEST-33 投票した審査委員 | 西沢, 今川, 梅村

| 審査委員長特別賞作品 (BEST-8) |

052 | 稲葉 来美 (横浜国立大学大学院)



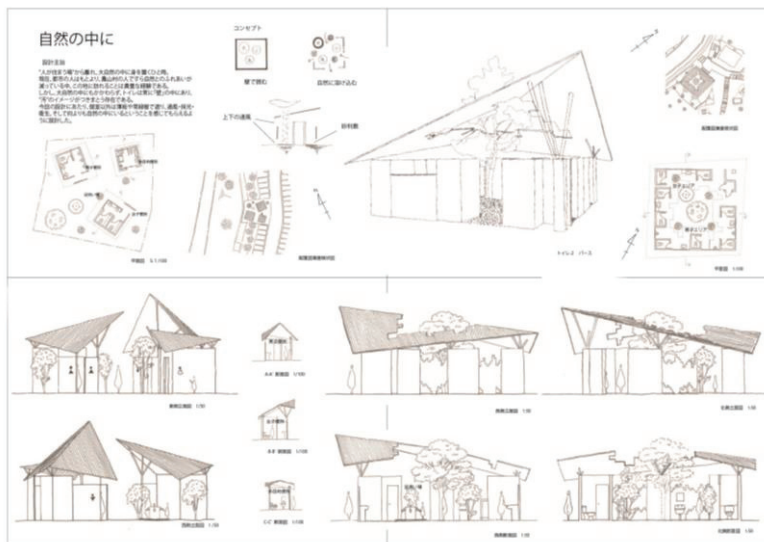
BEST-8 委員の議論により選定  
BEST-33 投票した審査委員 | 西沢, 今川

委員コメント

○提案書全体がすごく好感を持たれた。トイレ1, 2の脈絡はそれほどないが、どちらも面白そうに感じて、独特な世界のある人だなと思う。(西沢)

| 審査委員長特別賞作品 (BEST-8) |

053 | 倉 曹俊 (神奈川大学)



BEST-8 委員の議論により選定  
BEST-33 投票した審査委員 | 西沢, 石川

委員コメント

○試行錯誤をしており、分棟屋根で自然と調和すること、真ん中に木を設けて、中庭を作るということで、どちらも自然との融合を図っていることに好感を持たれた。(西沢)

| 審査委員長特別賞作品 (BEST-8) |

127 | 安永 彩乃, 佐々木 拓実, 寺田 祐平 (崇城大学)



BEST-8 委員の議論により選定  
BEST-33 投票した審査委員 | 西沢, 今川, 石川

委員コメント

○立面プロポーショナルがまるで大建築を作るような気概が感じられた。このような野心のある人がコンペに参加するのは良いと思う。(西沢)  
○建築基準法における構造的解釈が書かれており、本当なのかどうかも含めて話を聞きたい。(今川)  
分棟+大屋根の案では良い案。  
○ここまでシャープな屋根をかけることができるかは疑問。構造が心配。(石川)

| 応募作品 (BEST-33) |

038 | 福本 圭祐, 坪谷 知佳 (近畿大学)



BEST-33 投票した審査委員 | 今川, 梅村

委員コメント

- ありがちな形態であるが、モニュメントとして考えると光が入ってくると綺麗だと思った。(今川)
- 内部空間への光の入り方が心地よいと思った。(梅村)

| 応募作品 (BEST-33) |

087 | 宮崎 祥太, ス カイティン (東京理科大学)



BEST-33 投票した審査委員 | 石川, 梅村

委員コメント

- 丁寧に設計されている。配置もよい。仕上げについて、もう少し提案してほしい。(石川)
- トイレらしい点と壁の色彩が良い。(梅村)

066 | 菅谷 諒, 帰山 瑞喜 (小山工業高等専門学校)



BEST-33 投票した審査委員 | 梅村, 宮崎

委員コメント

- 防犯上課題があるが、案としてまとまっている点が良い。(梅村)
- まとまった形となっていると思う。(宮崎)

090 | 高橋 樹, 吉本 尚世 (日本大学)



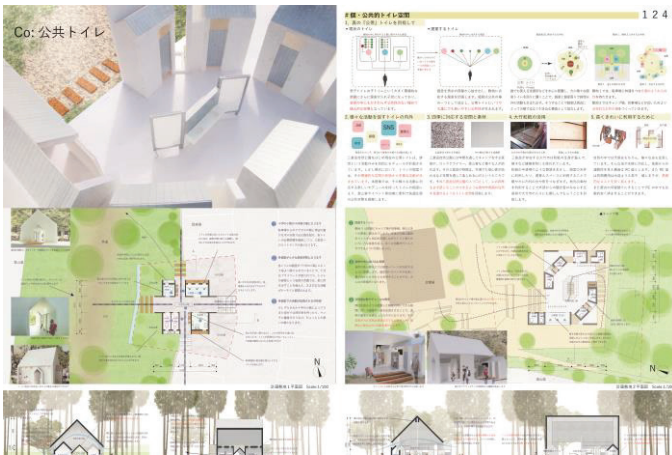
BEST-33 投票した審査委員 | 石川, 梅村

委員コメント

- トイレ2は内部空間が外のように作られていて気持ちが良い。(石川)
- トイレ2の回廊の構成が面白い。(梅村)

| 応募作品 (BEST-33) |

124 | 本山 真一郎, 大田 翼 (東京理科大学大学院)



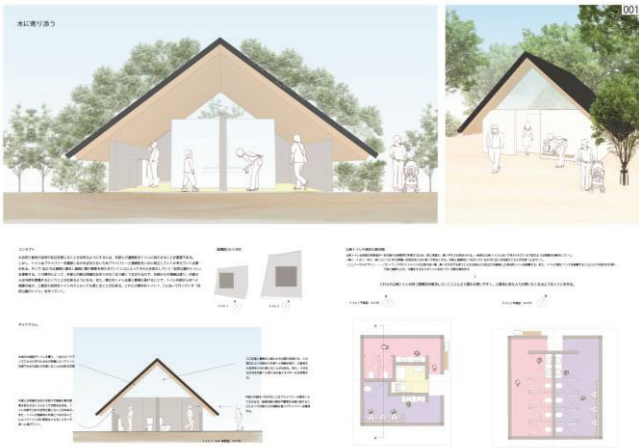
BEST-33 投票した審査委員 | 今川, 梅村

委員コメント

○もう少し設計者の話を聞きたいと思った。(今川)  
○白が基調で汚れが目立つが、全体的に清潔感があるので良い。(梅村)

| 応募作品 (BEST-33) |

001 | 加藤 和也, 今西 隼太郎 (大阪市立大学)



BEST-33 投票した審査委員 | 梅村

委員コメント

○大屋根の重量感が良かったが、男女トイレ間に仕切りが必要だと思った。(梅村)

007 | 藤井 隆道 (近畿大学大学院)



BEST-33 投票した審査委員 | 宮崎

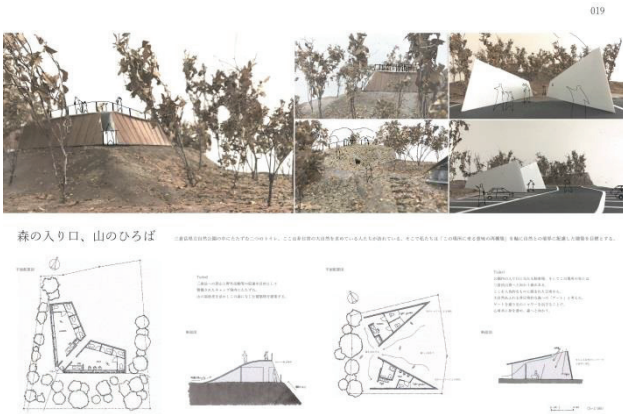
委員コメント

○蛇籠を使ってということでの場所にはふさわしいデザイン。自然石をそのまま基礎にするというよりは現実性が高いと思う。(宮崎)



| 応募作品 (BEST-33) |

019 | 今川 祐希, 上野 山早紀, 佐野 遙架,  
折本 日菜子 (穴吹デザイン専門学校)



BEST-33 投票した審査委員 | 梅村

委員コメント

○アイデアが斬新で、自然と一体となっている点が良い。  
(梅村)

020 | 岡本 晴美, 深谷 侑右 (広島工業大学)



BEST-33 投票した審査委員 | 西沢

委員コメント

○自然の中で小さな棟が並んでおり、間が外にあって気持ちよく感じた。(西沢)

| 応募作品 (BEST-33) |

023 | 堀之内 信, 金森 史佳, 大岩 利佳子 (関西学院大学)

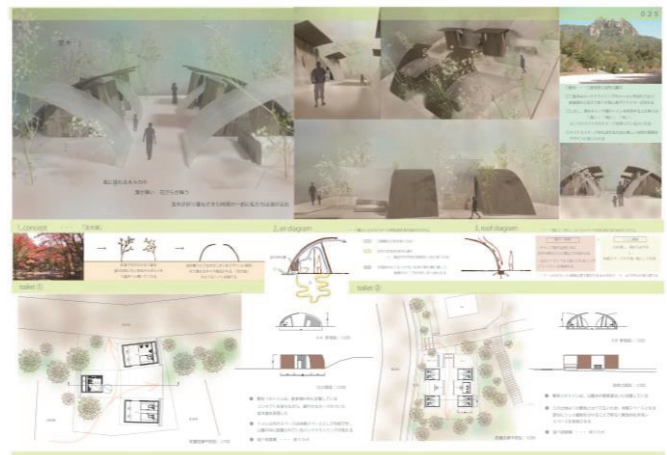


BEST-33 投票した審査委員 | 梅村

委員コメント

○三倉岳をモチーフとした屋根が良い。(梅村)

025 | 原口 優美子 (相山女学園大学)



BEST-33 投票した審査委員 | 宮崎

委員コメント

○アールの鉄板の屋根の採用には疑問があったが、地面から盛り上がっているものや、左右から迫ってくるもので、通路を空間が面白く好感が持てた。(宮崎)

| 応募作品 (BEST-33) |

034 | 稲庭 香歩, 中村 直, 佐藤 千香 (日本大学・大学院)



BEST-33 投票した審査委員 | 今川

委員コメント

〇トイレの臭いや暗さという点を解決しようとしており、もっと話を聞きたいと思った。(今川)

045 | 白石 雄也 (近畿大学)



BEST-33 投票した審査委員 | 石川

委員コメント

〇縁側の配置や分棟により風通しが良く心地よい空間となっていると思うが、屋根をルーバーにする必要があるのか疑問。(石川)

| 応募作品 (BEST-33) |

047 | 細川 みのり (日本女子大学)



BEST-33 投票した審査委員 | 宮崎

委員コメント

〇トイレ1は、分棟式で面白いと感じた。トイレ2は、南側から見上げた時のデザインをよく考えている。少し話を聞いてみたいと思った。(宮崎)

057 | 湯浅 和也, 二反田 星 (広島工業大学)



BEST-33 投票した審査委員 | 石川

委員コメント

〇シンプルな提案ではあるが、いろいろな場所ができてい。ヒューマンスケールをよく検討されている点が良い。(石川)

| 応募作品 (BEST-33) |

060 | 平岡 時士, 新宅 雄太 (近畿大学)



BEST-33 投票した審査委員 | 今川

委員コメント

○コンクリートの壁と一枚の屋根で表現しようとしており、ありきたりではあるが、チャレンジしようとする姿勢が見えた。(今川)

074 | 藤 孝紘, 狩野 裕亮, 徳永 梨紗, 橋本 香里, 中川 ほのか (広島工業大学)



BEST-33 投票した審査委員 | 宮崎

委員コメント

○円形にする必然性はよく分からないが、デザイン的に格好良いと思った。(宮崎)

| 応募作品 (BEST-33) |

078 | 櫻井 龍太, 前迫 駿翔 (近畿大学)

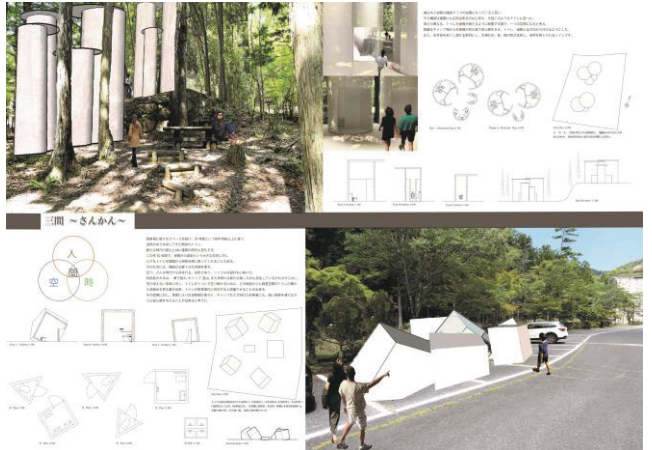


BEST-33 投票した審査委員 | 石川

委員コメント

○彫刻的な形が良いと思うが、アスレチック要素は蛇足ではないかと思う。(石川)

080 | 鋳銅 優作, 簗田 卓, 吉田 拓矢 (穴吹デザイン専門学校)



BEST-33 投票した審査委員 | 西沢

委員コメント

○分棟式で、素朴だけど面白い提案。トイレ1の岩のような、トイレ2は森の中に生える木の幹のような印象を受けた。トイレ1は、キューブを横に倒すだけではあるが、面白いなと感心した。(西沢)

| 応募作品 (BEST-33) |

100 | 本谷 魁土, 峰崎 紗弥香, 森 信介 (広島工業大学)

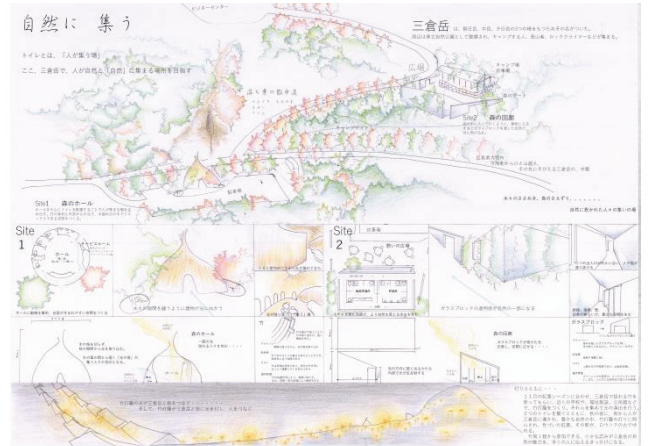


BEST-33 投票した審査委員 | 宮崎

委員コメント

〇スラブが宙に浮いているようなイメージでデザインされていたので、そこをブラッシュアップしたら面白い提案になると感じている。(宮崎)

102 | 山根 啓昂, 岩尾 優輝 (広島工業大学)



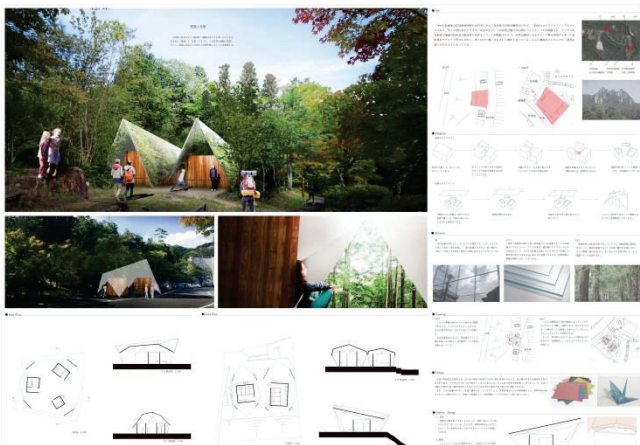
BEST-33 投票した審査委員 | 西沢

委員コメント

〇特にトイレ1の棟みtainなトイレがとても気に入った。一方で、トイレ2はガラスブロックで計画されており、同一人物が提案した作品なのかと思うくらいギャップがあって、独特の世界観は魅力的だと思う。(西沢)

| 応募作品 (BEST-33) |

108 | 安田 有輝 (近畿大学)



BEST-33 投票した審査委員 | 今川

委員コメント

〇屋根にガラスを採用しており、違和感あったが、入ってからのガラス越しに見る景色などを見ることができ、森と一体化できるのではないかと思った。(今川)

110 | 石居 直子, 寺下 麻里奈 (近畿大学)



BEST-33 投票した審査委員 | 今川

委員コメント

〇キャンプ場のテントに似た形状が面白い。(今川)

| 応募作品 (BEST-33) |

112 | 奥村 光城, 村田 晃一, 熊谷 和 (九州大学大学院)

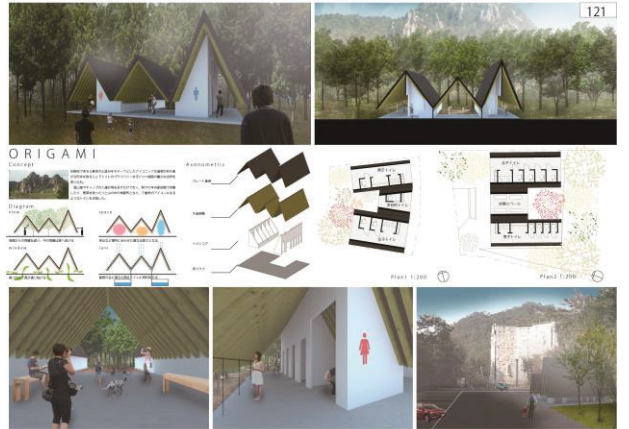


BEST-33 投票した審査委員 | 宮崎

委員コメント

○実現性が高い点を評価した。(宮崎)

121 | 竹村 裕人 (名古屋市立大学大学院)



BEST-33 投票した審査委員 | 梅村

委員コメント

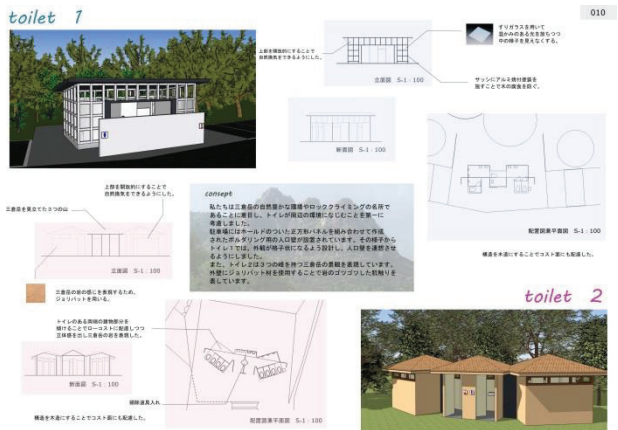
○屋根の形状が三倉岳を連想させる点が良い。(梅村)

| 応募作品 |

003 | 前田 海里, 西原 愛菜 (広島工業大学)



010 | 中田 陽和, 田口 絵理 (広島工業大学)

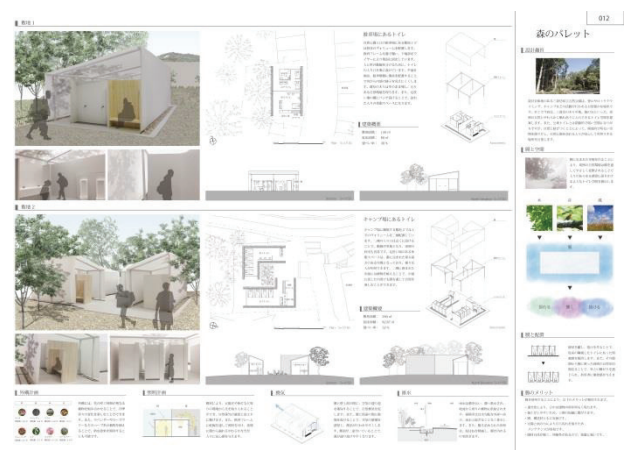


| 応募作品 |

011 | 砂田 美咲, 中川 果穂, 横山 菜摘 (安田女子大学)

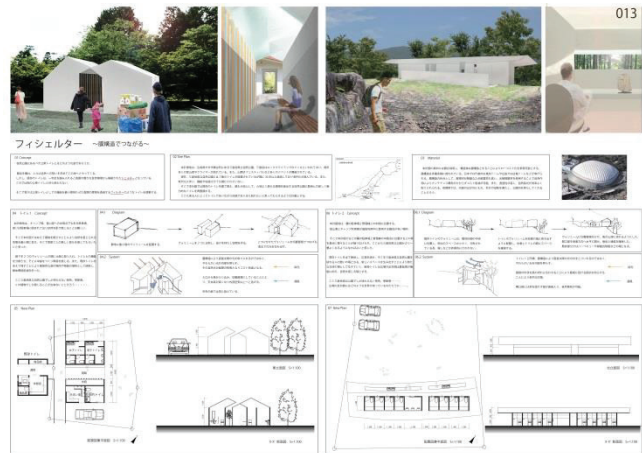


012 | 太田 奨吾, 井上 あい, 北岡 佳奈, 西澤 美咲, 藤原 悠 (京都府立大学)

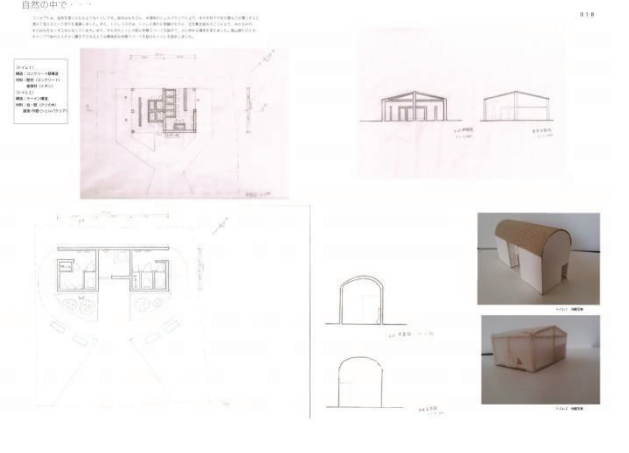


| 応募作品 |

013 | 山下 大志 (近畿大学)



018 | 庄司 梨紗 (神奈川大学)

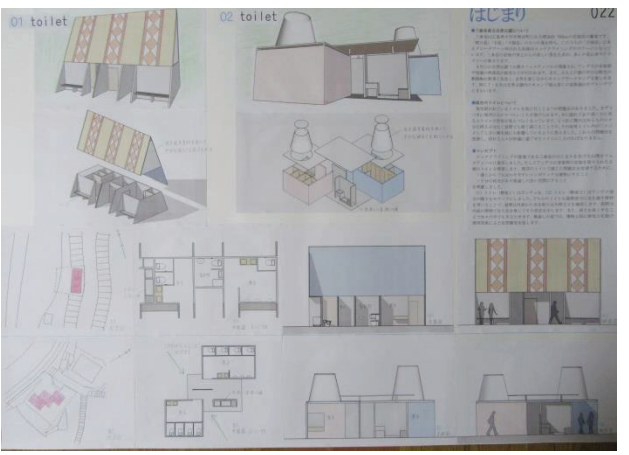


| 応募作品 |

021 | 安田 賢弘, マチヤマ 七海 (京都精華大学)



022 | 塩谷 玲奈 (山口大学)

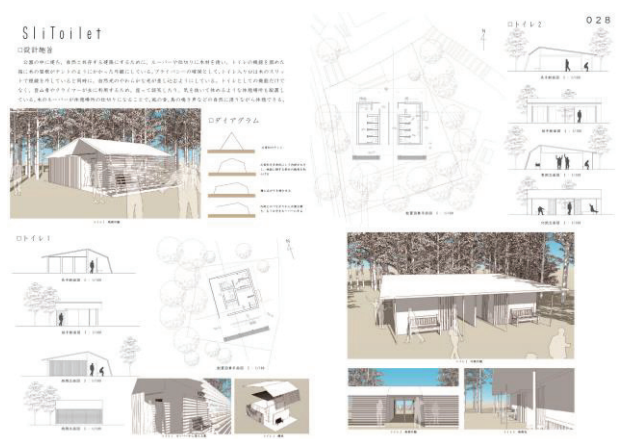


| 応募作品 |

024 | 門田 大希, 三坂 真優 (広島工業大学)



028 | 佐藤 聖 (神奈川大学)

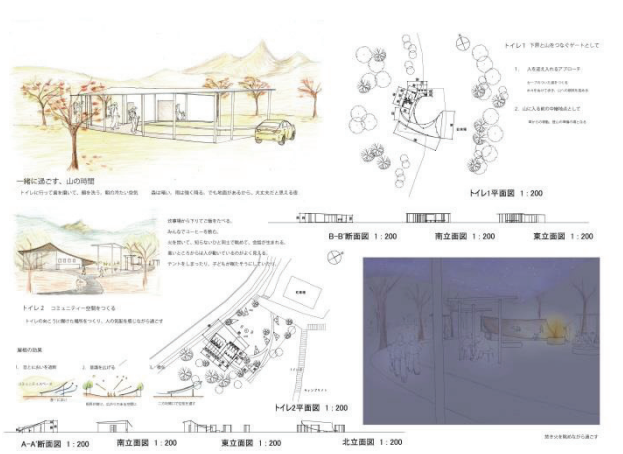


| 応募作品 |

032 | 高橋 諒, 万徳 友里香 (早稲田大学)

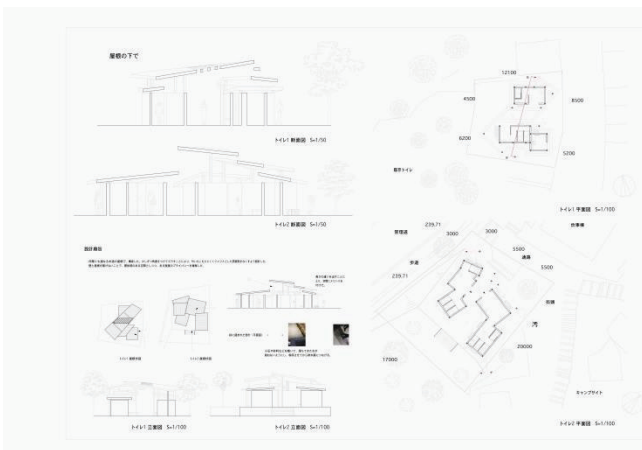


035 | 村山 明穂 (椋山女学園大学)

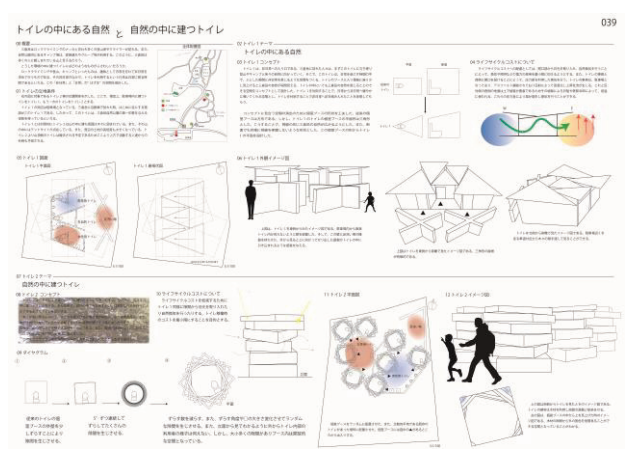


| 応募作品 |

037 | 玉野井 峻太, 竹島 大地, 吉村 圭司 (神奈川大学)



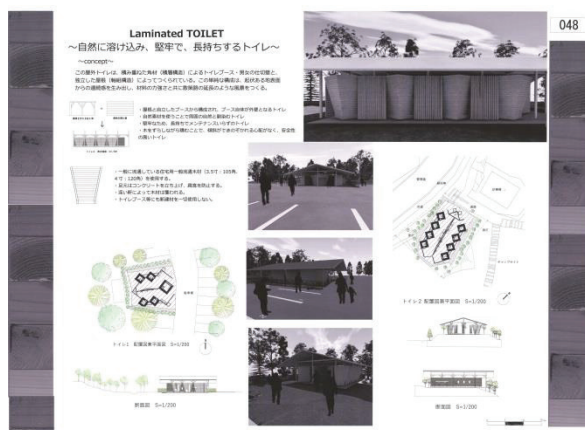
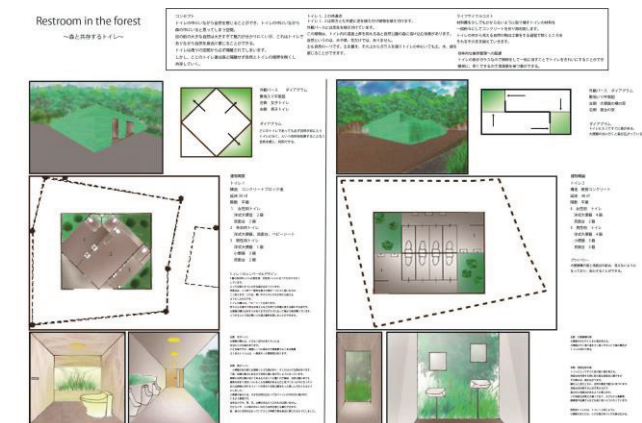
039 | 石村 翔一 (茨城大学)



応募作品

040 | 魚谷 嘉人 (近畿大学)

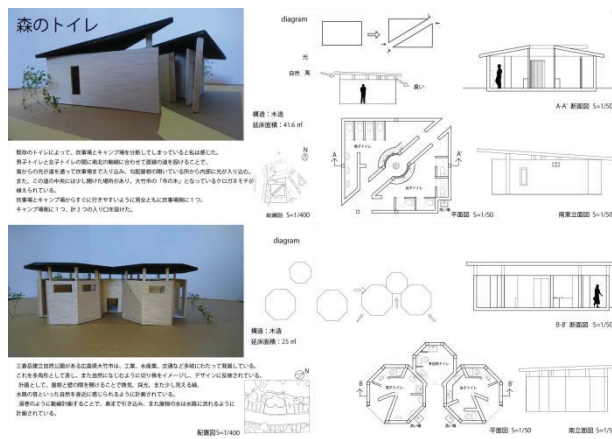
048 | 三宅 成史, 桑田 彩華, 石川 裕佳子 (広島工業大学)



応募作品

049 | 金 敏子 (穴吹デザイン専門学校)

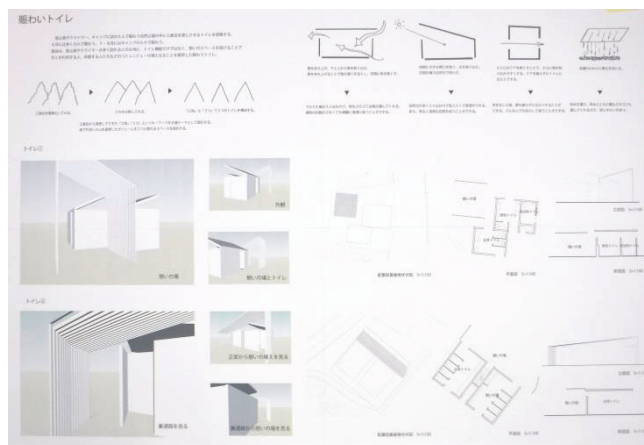
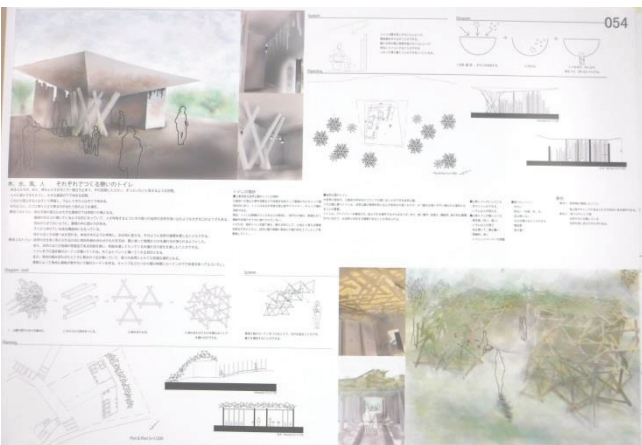
050 | 土洞 峻 (神奈川大学)



応募作品

054 | 北山 裕貴, 藤田 真奈, 大谷 昂輝 (近畿大学)

055 | 志藤 彩花 (神奈川大学)





応募作品 |

056 | 青木 康大 (近畿大学大学院)

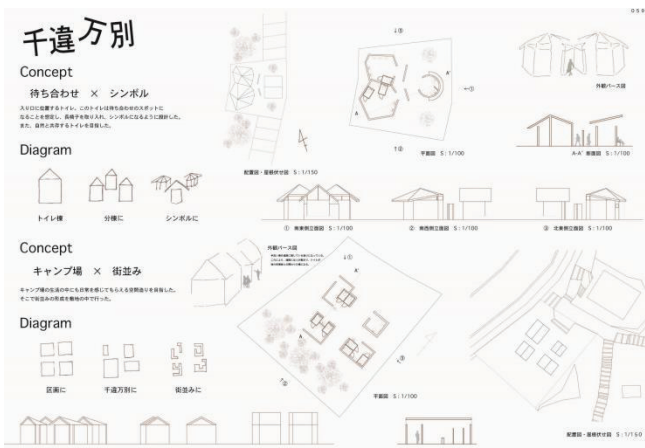


058 | 松尾 真利, 秋山 莉穂 (山口大学)

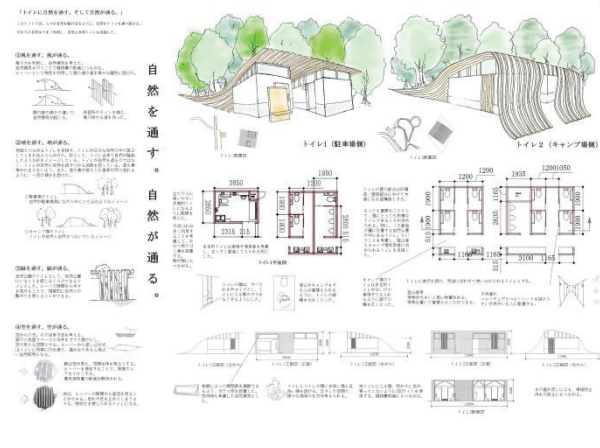


応募作品 |

059 | 佐々木 菜央 (神奈川大学)



063 | 岡田 実可子, 滝口 大貴 (関西学院大学)



応募作品 |

064 | 中村 岳史, 新村 郁也, 奥野 和希 (近畿大学大学院・広島大学大学院)

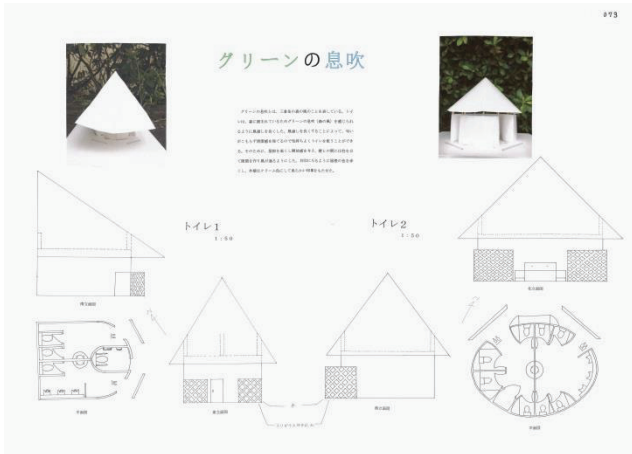


068 | 鎌田 成美 (女子美術大学)

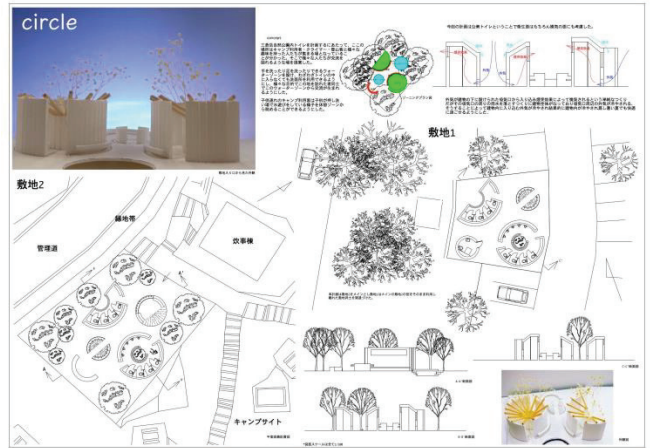


| 応募作品 |

073 | 後藤 珠梨, 近光 真奈 (広島女学院大)



075 | 浜松 謙太 (神奈川大学)

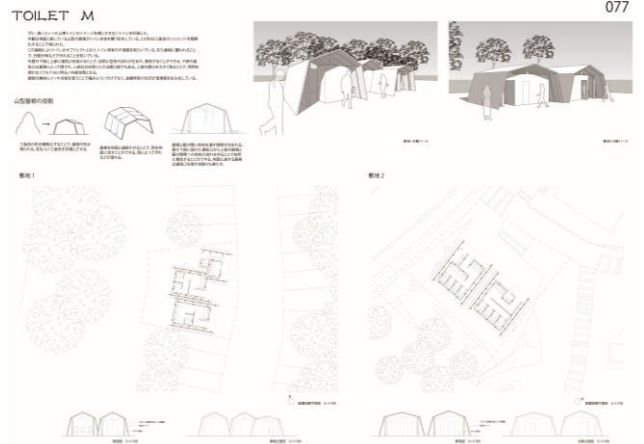


| 応募作品 |

076 | 工藤 崇史, 今村 洸人 (近畿大学)



077 | 早川 史洋 (神奈川大学)

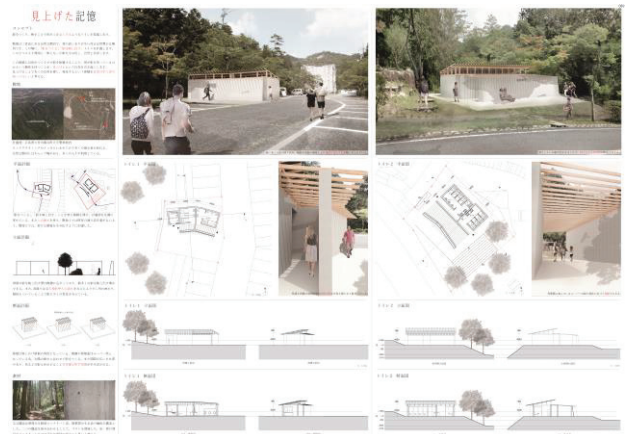


| 応募作品 |

082 | 永本 聡, 大村 太秀 (神戸大学)



089 | 實光 周作 (近畿大学大学院)

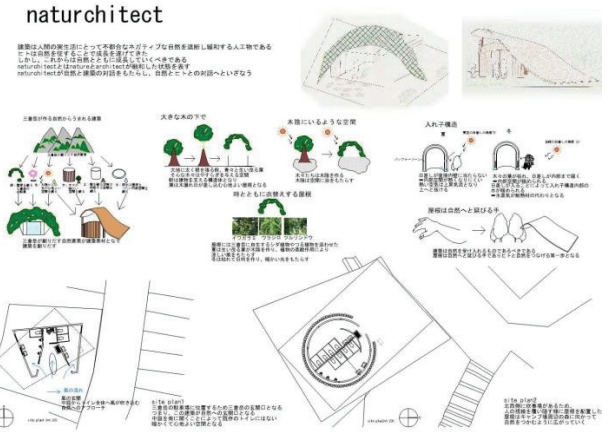


応募作品 |

091 | 新田 純一 (神奈川大学)



092 | 厚ヶ瀬 裕太, 新家 健太 (福山市立大学)

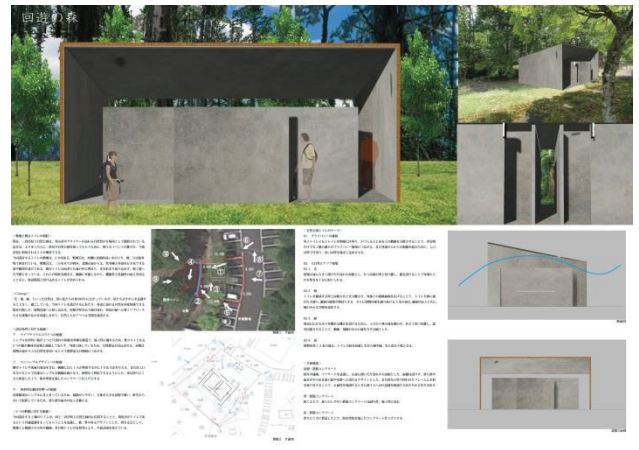


応募作品 |

096 | 松下 七海, 増永 凌 (近畿大学)

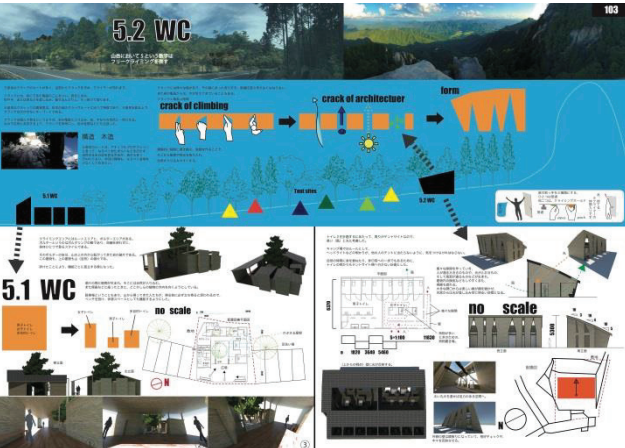


098 | 田中 直輝, 松浦 藍子 (広島工業大学大学院)

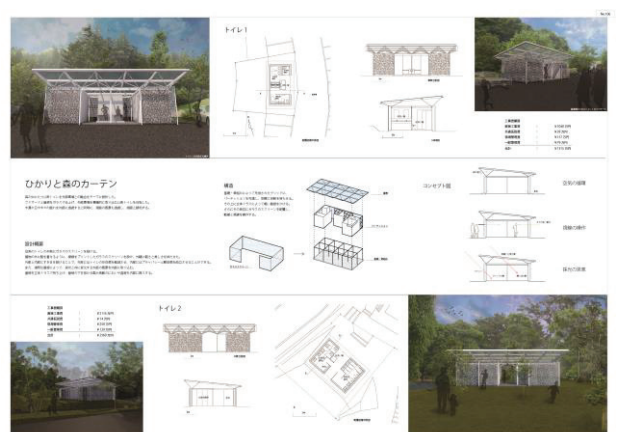


応募作品 |

103 | 岩穴口 颯音 (東京日建工科専門学校)



106 | 宇田 康晃, 田端 啓梧 (呉工業高等専門学校)



応募作品 |

107 | 宗 士淳, 加藤 慎也 (日本大学)

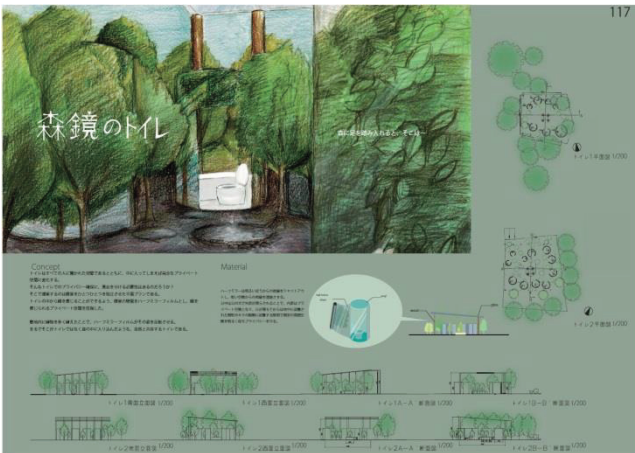


111 | 大内 美咲, 星川 あかり (安田女子大学)

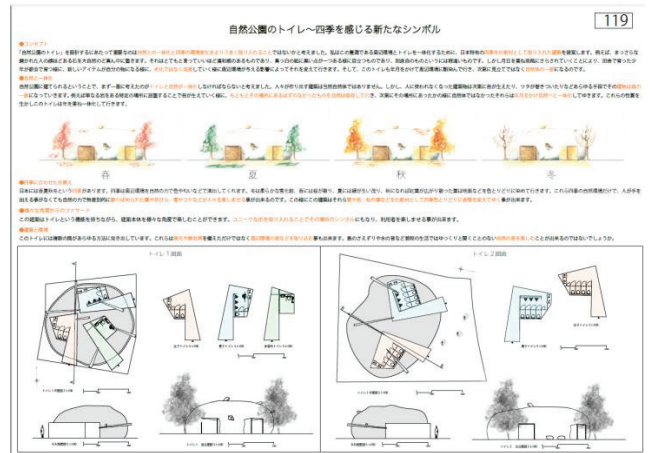


応募作品 |

117 | 宮川 響子 (相山女学園大学)



119 | 平尾 英之 (京都精華大学)



応募作品 |

122 | 矢吹 拓也 (神奈川大学)

